

令和2年度事業報告書

事業の概要

令和2年度（以下「今年度」という。）においては、一般法人法等の関連法案及び定款に遵守した会の運営に務めるとともに、定款に定めた目的及び事業を達成するため、当該年度事業計画の活動指針に沿って、教育・学術・文化の振興のための各種事業について、新型コロナウイルス感染拡大のため一部変更があったものの、概ね計画どおり実施した。

計画していた各種事業について、平成10年の授賞制度改正以降、23回目を迎えた令和2年度アカデミア賞表彰事業は、会員から推薦のあった候補者について、選考委員会において選考を重ね、理事会の議を経て、文化部門から1名、文化・社会部門から1名、計2名の受賞者を決定した。

詳細は、本会HP及び会誌ACADEMIA No180 2021.2に掲載されている。

第9回となる「2020年度アカデミア教育研究助成事業」は、会員のほか各都道府県及び政令指定都市の各教育委員会、並びに関係教育機関へ応募要項を送付するとともに、本会HPに掲載するなど広く周知を図った。選考委員会においては、応募のあった教育研究について選考を重ね、理事会の議を経て、グループ研究1件に対し助成を決定した。

講演会・シンポジウムの開催については、新型コロナウイルス感染防止のため、恒例のアカデミア賞受賞者による記念講演及び沖縄支部主催の地区講演会の他、5月に開催を予定していた2020年沖縄シンポジウム第10回海通路連携「琉球の島々から日本の行く末を見据える」など、計画していた全ての講演会及びシンポジウムの中止を余儀なくされた。

昭和21年創刊の機関誌「会誌ACADEMIA」は、2012年以降環境に関連する課題を取り上げ、今年度もさらなる充実を図るとともに、多くの関係者の協力を得て滞りなく5回刊行し、会員及び関係機関等に広く配布した。

主な事業

1. 教育・学術・文化の振興のための顕彰及び助成

1) 文化・社会及び国際交流に著しく貢献した人材に対するアカデミア賞の授与

令和3年3月27日（土）都ホテル京都八条において、令和2年度アカデミア賞授賞式を挙行し、次の各氏に対しアカデミア賞を授与した。

【文化部門】

絹川 正吉 氏：国際基督教大学名誉教授、元国際基督教大学学長

授賞理由：長年にわたる我国の大学教育の改善とりわけリベラルアーツ教育の充実に寄与した功績。

【文化・社会部門】

池上 惇 氏：京都大学名誉教授、(一社)文化政策まちづくり大学校代表理事

授賞理由：財政学及び文化経済学分野の発展並びに地域振興と生涯教育の充実に寄与した功績。

2) 我国の初等・中等及び高等教育の振興のためのアカデミア教育研究助成の贈呈

第9回(2020年度)アカデミア教育研究助成は、次のグループ研究に対し20万円を贈呈した。

【グループ研究】

研究課題：児童生徒一人一人を伸ばす授業づくりを目指して
～物理的支援環境及び人的支援環境を活かした授業づくり～
受賞者：鹿児島県立指宿養護学校 学校主題研究(テーマ研修)係

2. 機関誌の刊行

『会誌 ACADEMIA』の発行

○№176 2020.4 第10回有明海再生シンポジウム「豊かな有明海と周辺地域社会を未来世代に」

I 趣旨説明 京都大学名誉教授・舞根森里海研究所長 田中 克

II 基調講演：「世界・日本・諫早 いのち輝く社会を」

NPO 法人ガイア・イニシアティブ代表 野中ともよ

III パネル討論「海や川や森と共に生きる社会を未来世代に」

話題提供1：「福岡県柳川の掘割にニホンウナギと川遊びの子どもたちを復活させる」

NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く理事長 内山 里海

話題提供2：「三重県鳥羽の海で楽しく遊び漁業を元気づけるエコツーリズムの成幸を」

海島遊民クラブ代表 江崎 貴久

話題提供3：「宮崎県椎葉村の奥山で焼畑農業を営み、海山交流植樹祭を開く」

焼畑蕎麦苦楽部代表 椎葉 勝

話題提供4：「岩手県一関市で森は海の恋人植樹祭を支えて30年：育まれた地域社会」

岩手県一関市室根町第12自治会長 三浦 幹夫

IV パネル討論・フロアーからの発言・提言

○有明海を見渡す多良岳での第1回森里海を結ぶ植樹祭

～有明海再生への新たな流れを生み出す～

○№177 2020.8 「ポスト・コロナ社会に向けた展望」

巻頭言「ポスト・コロナ社会に向けた展望」 環境省自然環境局長 鳥居 敏男

「新型コロナ・パンデミックの危機にみる自然共生の意義と未来」

国立環境研究所生態リスク評価・対策研究室室長 五箇 公一

「ポスト・コロナの社会構想——分散型システムと「生命」の時代」

京都大学こころの未来研究センター教授 広井 良典

「ポスト・コロナ時代の大都市圏と地方圏」

株式会社日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介

「自然に入ることを、もっと自然に」

特定非営利活動法人 Nature Service 共同代表理事 赤堀 哲也

「一瞬の夏、あの桃源郷からSDGsを考える」

ジャーナリスト 河野 博子

「コロナ危機を踏まえた脱炭素で強靱な自立分散型の地域作りにむけて」

環境省環境事務次官 中井徳太郎

○№178 2020.8 「プラスチックと持続可能性～多様なステークホルダーによる共創の試み～」

I. 趣旨説明「プラスチックと持続可能性～多様なステークホルダーによる共創の試み～」

京都大学大学院地球環境学堂准教授 浅利 美鈴

II. 寄稿「プラスチック政策」

「プラスチック資源政策の動向と展望」

京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター長・教授 酒井 伸一

「プラスチック資源循環戦略の概要と特徴」

環境省大臣官房審議官（環境再生・資源循環局担当） 土居健太郎

III. 寄稿「プラスチックとの持続可能な付き合い方」

「プラスチックと持続可能性～多様なステークホルダーによる共創の試み～」

京都大学 地球環境学舎・セイラーズフォーザシー日本支局 井植美奈子

「地球の命と、プラスチックと。」

social good producer 石川 淳哉

『わが家』を世界一幸せにする～『資源循環型社会』に向けた ESG 経営と SDGs」

積水ハウス株式会社 ESG 経営推進本部部長 小谷 美樹

IV. 京都大学・FRaU 共創企画 みんなのプラ・イド革命 超 SDGs リーダー500 人の大編集会議

「かばんの中から世界を変える、はじめかた。今日、京からできる 10 のこと」

○パネル討議／編集リーダーズトークセッション

◆現場の対話からの変革

【パネリスト】 洛和会ヘルスケアシステム・医療法人社団洛和会専務理事・医師 矢野阿壽加

株式会社セブン&アイ・ホールディングス執行役員 釣流まゆみ

京都市総合企画局総合政策室 SDGs・レジリエンス戦略課長 齋藤 久也

【聞き手】 京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター長・教授 酒井 伸一

◆海・暮らし・京都からの変革@京町家「杉本家」

【パネリスト】 一般社団法人セイラーズフォーザシー日本支局理事長 井植美奈子

料理研究家・公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会常務理事兼事務局長 杉本 節子

【聞き手】 講談社「FRaU」編集長 関 龍彦

◆リーダーによる変革

【パネリスト】 リコージャパン SDGs 推進グループ CSR48 総監督 太田 康子

積水ハウス株式会社 ESG 経営推進本部部長 小谷 美樹

日本マクドナルドホールディングス株式会社 CSR 部マネージャー 岩井 正人

【聞き手】 social good producer 石川 淳哉

○グループ討議／共創の取組報告

○№179 2020.12 「情報医学・情報医療が拓く新たな地平」

企画趣旨「情報医学・情報医療が拓く新たな地平」

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部部長 本田 学

「情報医学・情報医療の体系化に向けて」

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部部長 本田 学

「高周波非可聴音を含む音楽を用いた受動的音楽療法の試み」

東京電機大学システムデザイン工学部准教授 川勝 真喜

株式会社竹中工務店技術研究所主任研究員 鈴木 和憲

株式会社竹中工務店営業本部営業企画部企画推進グループ部長 望月 菜穂子

「光をシグナルとして利用する新しい非視覚系光受容体と脳機能制御」

慶応義塾大学医学部眼科学教室教授・株式会社坪田ラボ代表取締役社長 坪田 一男
慶応義塾大学医学部眼科学教室特任講師・株式会社坪田ラボ Chief Scientific Officer 早野 元嗣
「情報医学の視点から見たユマニチュード」

一般社団法人日本ユマニチュード学会代表理事 本田美和子
「脳の計算の異常として心の病を探る」

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所計算論的精神医学研究室長 山下 祐一

○№180 2021.2「令和2年度アカデミア賞」

・令和2年度アカデミア賞受賞者業績概要

「文化部門」

絹川 正吉：国際基督教大学名誉教授、元国際基督教大学学長

「文化・社会部門」

池上 惇：京都大学名誉教授、一般社団法人文化政策・まちづくり大学校代表理事

・アカデミア賞受賞記念寄稿

「日本の大学教育の回顧と展望～自分史と重ねて 国際基督教大学名誉教授 絹川 正吉

「固有価値・地域文化資本」研究による「都市・地域振興；生涯学習・研究システム」の構築」
京都大学名誉教授 池上 惇

・アカデミア賞歴代受賞者一覧

授賞制度改正（平成10年度）以降

・第9回（2020年度）アカデミア教育研究助成の決定

グループ研究：「児童生徒一人一人を伸ばす授業づくりを目指して

～物理的支援環境及び人的支援環境を活かした授業づくり～」

鹿児島県立指宿養護学校 学校主題研究（テーマ研修）係

・アカデミア教育研究助成報告

「児童生徒一人一人を伸ばす授業づくりを目指して」

～物理的支援環境及び人的支援環境に配慮した授業づくりの実践研究～

鹿児島県立指宿養護学校 学校主題研究（テーマ研修）係 グループ代表：教諭 迫 利通

4. その他の事業

「理事会・定時社員総会開催」

①第1回理事会

日時：令和2年6月3日（水）午後2時～3時

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

議事：1. 2019年度事業報告の件

2. 2019年度公益目的支出計画実施報告書の件

3. 2019年度収支決算の件

4. 令和2年度事業実施の件

②定時社員総会

日時：令和2年6月19日（金）午後3時～4時

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

- 議事：1. 2019年度事業報告の件（報告）
2. 2019年度公益目的支出計画実施報告書の件（報告）
3. 2019年度収支決算の件日時：

③第2回理事会

日時：令和2年11月27日（金）午後2時～3時

場所：都ホテル京都八条「八坂の間」

- 議事：1. 令和2年度アカデミア賞選考の件
2. 第9回（2020年度）アカデミア教育研究助成選考の件
3. 令和2年度アカデミア賞授賞式開催の件

④第3回理事会

日時：令和3年3月26日（金）午後3時～

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

- 議事：1. 令和2年度事業報告の件
2. 令和2年度収支決算の件
3. 令和3年度事業計画の件
4. 令和3年度収支予算の件
5. 令和3年度定時社員総会の開催の件
6. 令和3年度アカデミア賞選考委員会の設置の件
7. 役員(理事・監事)の改選の件
8. 評議員の改選の件
9. 業務執行理事（会長・専務理事）の職務執行状況の件